

令和3年度 当初予算（案）

～デジタル化で、

しあわせ実感都市、つしま

を目指す！予算～



津 島 市

当初予算の概要（定例会分）

予算規模 一般会計 209億4千万円

主な事業（別添参考資料を参照）

施策名	予算額	資料番号
総務デジタル課を設置！ 民間デジタル専門人材を活用！ 地域BWAを活用したフリーWi-Fiの整備など、防災・教育・福祉・観光分野等のデジタル化を進めます	9,550万5千円	1
教育のデジタル化を推進します ～GIGAスクール構想の推進～	8,785万8千円	2
教育の国際化を推進します ～国際理解教育事業（領事館プロジェクト）などの推進～	2,886万4千円	3
木材で作られたロッカーや玩具を通して子どもたちに木のぬくもりを伝えます	481万7千円	4
防災映像を制作し、市民の防災意識向上を図ります ～オープニングで、福和教授、片田特任教授よりビデオメッセージ～	55万円	5
自助・共助についての防災訓練や防災教育等を実施し、地域防災力向上を図ります ～ハザードマップ・マイタイムラインを全戸配布します～	699万3千円	6

施 策 名	予 算 額	資 料 番 号
津島の魅力発信を強化します ～ふるさと津島応援広報大使・応援団を結成します～ ～ふるさと名物応援パンフレットを作成します～	1, 114万6千円	7
氷室作太夫家住居（市指定文化財）の現況を調査します ～歴史的建造物の保存・活用の仕方を検討～	447万7千円	8
津島駅周辺のまちづくり構想を策定します ～暮らしの場、話題の場、交流の場など、暮らし・楽しみ・人を惹きつけ 歩きたくなる元気な「まちなか」を創ります～	1, 411万3千円	9
全ての道路灯・公園灯のLED化を進めます	債務負担行為 1億4, 560万円	10
津島市へ進出する企業を支援します	7, 674万3千円	11
「笑顔で健幸大作戦！2021」 『健幸が一番！！』～子どもから高齢者まで健康生活をまるごと応援します～	157万2千円	12
津島地区医療センターを改修し、新型コロナウイルス感染症対策を推進します ～「ふるさとつしま応援寄附金」を活用～	1, 100万円	13
新型コロナ対策のため、看護専門学校のトイレ等を自動センサー化します	1, 400万円	14
【国民健康保険特別会計】 特定健康診査前世代（35歳から39歳）の方の健康意識の向上を図ります ～自己負担額ゼロで健康管理を支援～	145万9千円	15

総務デジタル課を設置！

民間デジタル専門人材を活用！

地域BWAを活用したフリーWi-Fiの整備など、防災・教育・福祉・観光分野等のデジタル化を進めます

予算額 9,550万5千円

今後ますます加速する社会全体のデジタル化に対応するため、組織体制を強化し、民間人材を活用しながら、津島市DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進していきます。

○ 組織の体制強化（人事秘書課）

デジタル化に対応するため、総務課を「総務デジタル課」に変更し、人員を増員して体制強化を図ります。



○ デジタル専門人材確保事業【新規】（人事秘書課）

400万円

情報通信技術（ICT）に精通した民間人材を活用し、デジタル化への課題解決を推進します。

令和3年2月19日（金）

とりまとめ

津島市総務部総務課（大澤、崎本）

電話番号 0567-55-9609（ダイヤルイン）

○ フリーWi-Fi推進事業【新規】（総務課）

18万4千円

地域BWAを活用して、市役所をはじめ主要な避難所（6施設）にフリーWi-Fiを設置します。

<対象施設>市役所、総合保健福祉センター、文化会館、生涯学習センター、神島田公民館、西地域防災コミュニティセンター

地域BWA（地域広域帯移動無線アクセスシステム）

2.5GHz帯の周波数の電波を使用し、地域の公共サービスの向上や地域の公共の福祉の増進に寄与することを目的とした電気通信業務用の無線システム。

河川監視、通学路・高齢者の見守り、観光情報配信などに活用することができます。

DX（デジタルトランスフォーメーション）

ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

○ **リモートワーク等推進事業【新規】（総務課）**
301万3千円

職員が在宅勤務を行うためのパソコン等を整備します。また、市が主催する会議や看護専門学校での授業をオンラインで実施できる環境を整備します。

○ **オンライン授業整備事業（看護専門学校）**
45万円

遠隔授業を充実させるために、タブレット端末及びポケット型Wi-Fiルーターを整備します。

○ **GIGAスクール構想推進事業（学校教育課）**
8,785万8千円

全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現し教育の質の向上を図るため、新しい時代の学びを支えるICT支援員を配置するなど、教育ICT環境の実現を目指します。



教育のデジタル化を推進します ～G I G Aスクール構想の推進～

令和3年2月19日（金）

津島市教育委員会学校教育課(水野、木谷)

電話番号 0567-55-9417(ダイヤルイン)

予算額 8,785万8千円【再掲】

Society5.0時代の到来など子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中で、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと、協働的な学びを実現し、全ての子どもたちの学びを保障するために「G I G Aスクール構想」の実現を前提とした新しい時代の学びを支える学校教育のICT環境の実現を目指します。

○ ICT支援員設置事業【新規】 1,056万円

小中学生のタブレット活用の施策として、ICTを活用した学びを充実するため、その技術や活用に知見を有するICT支援員を市独自で配置を行い、ICTを活用した授業等を教師がスムーズに行えるようサポートします。



○ 一人一台タブレット利活用研修委員会

G I G Aスクール構想により配備された1人1台タブレットの運用を市内小中学校の教職員による利活用研修委員会にて検討し、市内全12小中学校でタブレットを活用したICT教育の充実を図ります。

Society5.0について

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）。

○ G I G Aスクール構想機器整備事業

7,659万4千円

G I G Aスクール構想により配備されるICT端末の活用を推進するため、センターサーバーの移設実施やインターネット接続機器の整備を行います。

○ 授業目的公衆送信補償金【新規】 70万4千円

授業を目的としてサーバー等に教材等を保存して利活用するために、著作者の許諾不要でインターネット等で送信できるようにします。

<関連事業>

学校教育活動継続支援事業（令和3年3月補正予算） 360万円

うちICT研修委託料 92万4千円

夏季休業期間の短縮等により研修機会を逸した教職員に対して、ICT研修を実施します。

教育の国際化を推進します

～国際理解教育事業（領事館プロジェクト） などの推進～

令和3年2月19日（金）

津島市教育委員会学校教育課（水野、木谷）

電話番号 0567-55-9417（ダイヤルイン）

予算額 2, 886万4千円

グローバル化や情報化など、多様化が一層進む社会にあって、子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力や多様な個性を伸ばし、国際人として成長し、国際社会のなかで貢献できるよう教育の国際化を推進します。

○ 国際理解教育事業（領事館プロジェクト）

25万4千円

市内小学校（3校）の児童を対象に、外国の文化に触れる機会を創出することで、グローバル化する社会の中で他の文化圏の人や暮らしに親しみを持ち、国際理解を深めることを目的として、県内にある3領事館と連携して講演会や教室などの領事館プロジェクトを実施します。

＜実施校＞ 北小学校（ペルー）、蛭間小学校（カナダ）、
高台寺小学校（大韓民国）

○ 外国人児童生徒指導事業【新規】 29万6千円

多文化共生の面から外国人児童生徒の指導のため教員用の多言語対応型翻訳機を各小中学校に1台整備します。

○ JETプログラム事業 2,831万4千円

市内の小中学校の外国語教育の充実のため、JETプログラムを活用した外国語指導助手（ALT）を市内全12小中学校に6人配置します。

JETプログラムについて

外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を目的に、総務省、外務省、および文部科学省の協力のもと実施している語学指導等を行う外国青年招致事業をいいます。（The Japan Exchange and Teaching Programme）



木材で作られたロッカーや玩具を通して 子どもたちに木のぬくもりを伝えます

令和3年2月19日（金）
津島市健康福祉部子育て支援課（辻村、藤倉）
電話番号 0567-24-1120（ダイヤルイン）

予算額 481万7千円【新規】

森林環境譲与税を活用して、保育所等に木材で作られたロッカー・整理棚・玩具等を配備し、木と触れ合える環境を整えます。

子どもたちが木のぬくもりや柔らかさといった木材の特性を知り、森林の大切さや木材に対する理解を深めてもらい、子どもの育成環境の向上を図り、豊かな子育てを実現します。

保育所等木製製品充実化事業

公立の保育所・認定こども園・子育て支援センター・幼稚園にロッカー、フックスタンド、整理棚、絵本棚、玩具を整備し、子どもたちの育成環境の向上を図ります。

○ 対象施設

- ・ 共存園保育所
- ・ 新開こども園
- ・ 子育て支援センター
- ・ 津島幼稚園

参考

森林環境譲与税（令和元年創設）譲与額	
令和元年度	239万4千円
令和2年度	508万8千円
令和3年度	530万円（当初予算額）



防災映像を制作し、 市民の防災意識向上を図ります ～オープニングで、福和教授、 片田特任教授よりビデオメッセージ～

令和3年2月19日（金）

津島市市長公室危機管理課（磯部、越宮）

電話番号 0567-55-9594（ダイヤルイン）

予算額 55万円【新規】

市民の防災意識向上を図るため、西尾張シーエーティーヴィ（株）と協力して、自助・共助に関する防災映像を制作し、クローバーTVにて放送します。併せて、令和2年度に新たに設置した「自助・共助防災学習センター」においても、いつでも繰り返し視聴できるようにして、市民へ防災情報を発信します。

防災映像制作事業

〈映像内容〉

- ・防災実験器の説明
- ・ハザードマップの説明
- ・避難所における感染症対策の説明など

〈参考〉

「自助・共助防災学習センター」について

- ・令和3年3月20日（土・祝）オープン
- ※オープニングセレモニー時、福和伸夫氏（名古屋大学教授・減災連携研究センター長）及び片田敏孝氏（東京大学大学院情報学環特任教授）によるビデオメッセージ
- ・住所：津島市莪原町字椋木5番地（津島市生涯学習センター2階）
- ・防災映像の視聴及び防災実験器の体験
- ・避難生活体験（段ボールベッド、避難所用テント、フロアマットなど）
- ・家具転倒防止の啓発及び防災学習スペースなど



自助・共助についての防災訓練や防災教育等を実施し、地域防災力向上を図ります ～ハザードマップ・マイタイムラインを全戸配布します～

令和3年2月19日（金）

とりまとめ

津島市市長公室危機管理課(磯部、越宮)

電話番号 0567-55-9594(ダイヤルイン)

予算額 699万3千円

避難所である小学校への避難誘導訓練を始めとした、「津島市地区総合防災訓練」を西・南・神島田小学校において開催します。また、避難所の小・中学校や公共施設への備蓄品の配備、市民へのハザードマップやマイタイムラインの配布を行います。

また、市内小・中学校では、「家庭防災の日」にあわせて、防災情報カードを活用した防災学習を行い、災害に備え日頃から家族で話し合える環境を整えます。併せて、小・中学生を対象に防災に関する講演会を実施します。

○ 防災訓練事業（危機管理課） 359万7千円

各校区において、小学校・地域・市が協働して防災訓練を実施します。

○ 資機材備蓄事業（危機管理課） 300万円

災害用の備蓄品及び備蓄資器材を避難所等に配備します。

○ 防災情報啓発事業（危機管理課） 35万7千円

ハザードマップやマイタイムラインを全戸配布します。

○ 防災教育事業【新規】（学校教育課） 3万9千円

市内の防災訓練を実施する時期に、市内小・中学校において、防災教育に携わる大学と連携し、大学教授等を講師に招き、小・中学生を対象に防災に関する講演会を実施します。



津島の魅力発信を強化します

～ふるさと津島応援広報大使・応援団を結成します～

～ふるさと名物応援パンフレットを作成します～

令和3年2月19日（金）

とりまとめ

津島市市長公室シティプロモーション課(安藤、三輪)

電話番号 0567-55-9589(ダイヤルイン)

予算額 1, 114万6千円

新たに「ふるさと津島応援広報大使・応援団」を結成し、津島の魅力を多面的にかつ、幅広く発信します。さらに、津島のまちや名物、地場産品等のイメージの向上を図り、津島のファンの獲得・リピーター化を目指します。

○ ふるさと津島応援広報大使・応援団事業【新規】 (シティプロモーション課) 300万円

津島市出身の著名人等を「ふるさと津島応援広報大使」に任命するとともに、市民等から募集して「津島PR応援団」を結成し、SNSを活用して市内外に向けて津島の魅力を発信します。

○ ふるさと名物応援事業【新規】 (産業振興課) 41万8千円

津島の自然風土、歴史文化により受け継がれてきたふるさと名物(あかだ・くつわ、もろこ寿司、津島麩など)を紹介した「ふるさと名物応援パンフレット」を作成し、津島の食文化をPRします。

○ ふるさと納税返礼品PR事業【新規】 (シティプロモーション課) 110万円

ふるさと納税ポータルサイトに津島のふるさと納税返礼品のバナー広告を掲載し、全国の寄附者に対し、より一層の津島の地場産品のPRを行います。

○ つしまちあるきキャンペーン事業 (シティプロモーション課) 662万8千円

名古屋鉄道(株)とタイアップし、津島駅までの往復乗車券、津島ならではの土産との引換券、クーポンなどがセットになった交通企画乗車券を販売し、津島の知名度向上とともに市内での消費を促進します。



氷室作太夫家住居（市指定文化財）の 現況を調査します ～歴史的建造物の保存・活用の仕方を検討～

令和3年2月19日（金）

津島市教育委員会社会教育課（横井、中村）

電話番号 0567-55-9421（ダイヤルイン）

予算額 447万7千円【新規】

愛知県下4番目（犬山市、名古屋市、岡崎市に次ぐ）に認定された歴史的風致維持向上計画に基づき、歴史的建造物の保存・活用の仕方を検討するため氷室作太夫家住居（市指定文化財）の現況を調査します。

氷室作太夫家住居現況調査事業

唯一現存する津島御師の家である氷室作太夫家住居の保存・活用の仕方を検討するため、現況調査を実施し、現状を把握します。

○氷室作太夫家住居について

- ・嘉永2年（1849年）建築の旧社家（津島神社の神職家）の居宅
- ・平成2年に市指定文化財として指定
【指定物件】母屋1棟、長屋1棟、門1棟、中庭
- ・令和3年は御師制度廃止から150年になります。

歴史的風致について

地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境

津島御師について

かつて社家の人たちが御師として地方へ出向き布教活動を行い、信徒が参宮の際には宿泊の世話などをした。

<氷室作太夫家住居>



津島駅周辺のまちづくり構想を策定します

～暮らしの場、話題の場、交流の場など、暮らし・

楽しみ・人を惹きつけ歩きたくなる元気な「まちなか」を創ります～

令和3年2月19日（金）

津島市建設産業部都市計画課（角田、松尾）

電話番号 0567-55-9627(ダイヤルイン)

予算額 1,411万3千円【新規】

暮らしの場、話題の場、交流の場など、暮らし・楽しみ・人を惹きつけ歩きたくなる元気な「まちなか」を創るため、官民連携により、まちの再構築（リノベーション）に向けたまちづくり構想を策定します。

津島駅周辺まちづくり構想検討事業

名古屋鉄道（株）と全国で都市再生を手掛ける（独）都市再生機構（UR都市機構）や愛知県と連携して、市民等と進めてきた対話型まちづくりから得られた想いを盛り込んだ、正面玄関にふさわしい元気な「まちなか」となるまちづくり構想を策定します。

現在策定中の「都市計画マスタープラン」では、**市域の東西南北に「4つの玄関」として訪れる人を出迎える場所、名鉄津島駅周辺を「正面玄関」として、様々な人が集い行き交う元気な「まちなか」を創っていく方針**としています。

※ まちづくり構想の具体的な検討内容

「駅ちか居住」を含めた土地や建物の高度化・共同化に向けた有効な施策、駅とまちがより一体感がある「駅まち空間」に向けた駅前広場等の都市デザイン、暮らしを高めるために必要な店舗などの誘導施策、人を惹きつけ心に残る津島の文化や歴史が漂う沿道まちなみ景観 等

※ まちづくり構想策定後の予定

策定後は、市民、事業者、行政とで将来像を共有し実現に向けて協働で取り組むため、多様な意見を集約化し、都市計画を決定するなど、まちづくりを推進していきます。



イベント時における駅前のイメージ図
(H29 天王通再生プラン最優秀作品より)



秋祭りにおける天王通線のイメージ図
(H29 天王通再生プラン優秀作品より)

令和3年2月19日（金）

津島市建設産業部都市整備課（市川、森）

電話番号 0567-55-9687（ダイヤルイン）

全ての道路灯・公園灯のLED化を進めます

予算額（債務負担行為） 1億4,560万円【新規】
（令和4年度～令和13年度）

市が管理している道路灯及び公園灯を、民間企業の資金や技術力などを活用するESCO事業を導入して、全てLED化します。

道路灯・公園灯LED化事業

現在、市が管理する道路灯1,103灯、公園灯142灯の内、LED灯を除く道路灯947灯、公園灯133灯の合計1,080灯については、令和3年度中に全てLED化します。

・ESCO事業とは

省エネルギー診断、施工、維持管理、資金調達等の工事に係る全てのサービスを提供する事業であり、省エネルギーの改修経費をエネルギー削減に伴う削減された電気料金から賄います。

・ESCO事業スケジュール

令和3年度は委託料の支出なし

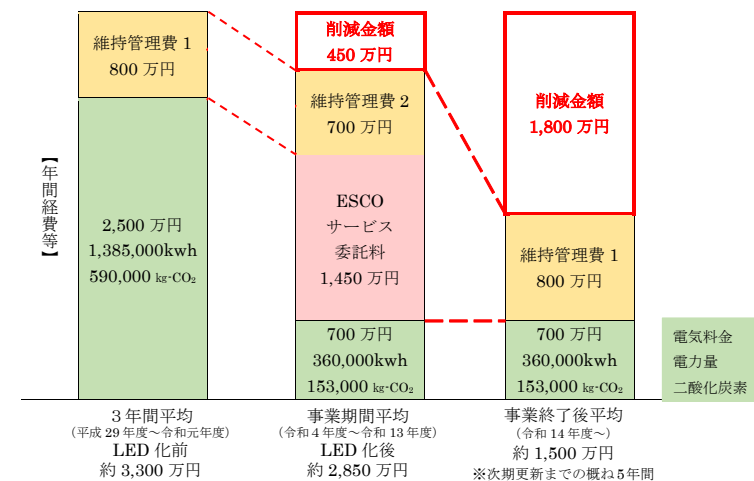


・債務負担行為とは

事業が単年度で終了せず、後の年度においても支出が伴う場合に、後の年度の債務の支出総額の限度額を予算であらかじめ決めておくものです。

【LED化事業後の効果予測】

- ・電力量は1,025,000kwh、二酸化炭素の排出量は437,000 kg-CO₂をそれぞれ削減できる。
- ・削減されるCO₂を杉の木の吸収量に換算すると約31,000本のCO₂吸収量と同等の効果となる。



- ・維持管理費1・・・灯柱の修繕・建替え、新設、不点灯の修繕、灯具修理
- ・維持管理費2・・・灯柱の修繕・建替え、新設
- ・ESCOサービス料・・・LED化工事費用、不点灯受付業務、不点灯の修繕、灯具修理、台帳更新、エネルギー検証等

津島市へ進出する企業を支援します

令和3年2月19日（金）

津島市建設産業部産業振興課（横井、原田）

電話番号 0567-55-9347（ダイヤルイン）

予算額 7,674万3千円

津島市は、平成28年度より補助金制度を設け、ワンストップ体制で企業誘致を積極的に進めています。これまで市が指定した3つの区域（宇治、白浜、鹿伏兎）の合計、約21haのうち、約10.5haにおいて製造業12社を誘致し、そのうち5社が既に操業開始しています。

企業誘致補助金

都市計画法第34条第12号に基づき指定した区域等への企業進出を促進するための優遇策として以下の補助金を交付します。令和3年度は、9社分を予定しています。

・インフラ整備補助金 3,400万円

工場等の新增設に伴い、市が管理する又は管理することになる道路、水路等の工事費の一部を補助します。令和3年度は、5社分を予定しています。

・企業立地促進補助金 4,274万3千円

市が指定した区域等に進出した企業が納付した固定資産税の一部を3年間補助します。令和3年度は、4社分を予定しています。



「笑顔で健幸大作戦！2021」

『健幸が一番！！』～子どもから高齢者まで 健康生活をまるごと応援します～

令和3年2月19日（金）

津島市健康福祉部健康推進課（鈴木、佐藤）

電話番号 0567-23-1551

予算額 157万2千円【新規】

コロナ禍での健康づくりを推進するため、健康マイレージ事業のアプリ版を導入します。
子どもから高齢者が、笑顔で、健やかに、幸せになることを目指します。

笑顔で健幸大作戦事業

アプリまたは記録用紙に運動・食習慣など生活習慣、健診・検診行動を記録し、ポイント（マイレージ）を貯め、特典が得られる事業です。子どもから高齢者まで取り組みます。

令和3年6月～11月を強化期間とし、ポイント2、3を行います。



ポイント1 「まいか」を配布します

40ポイントためると県内協力店で使用できる優待券「まいか」を配布します。

ポイント2 商品券・図書券をお渡しします

抽選で1,000円、500円分の商品券・図書券をお渡しします。

ポイント3 市長が表彰します

平均歩数、健診受診状況、生活習慣の取組優秀者を市長が表彰します。

健幸が一番



津島地区医療センターを改修し、 新型コロナウイルス感染症対策を推進します ～「ふるさとつしま応援寄附金」を活用～

令和3年2月19日（金）

津島市健康福祉部健康推進課（鈴木、上野）

電話番号 0567-23-1551

予算額 1,100万円【新規】

新型コロナウイルス感染症予防のため、「ふるさとつしま応援寄附金」を活用して、津島地区医療センターの設備を改修します。

津島地区医療センター施設設備整備事業 （ふるさと応援寄附金充当事業）

<改修内容>

- ・手洗改修：自動水栓化
- ・トイレ改修：自動水栓化
- ・バリアフリートイレ改修：乾式化、器具取替
- ・床改修：1階床シートの張り替え など
- ・施工面積：約130m²



津島地区医療センターについて

住 所：津島市藤浪町4丁目14番地

診療科目：内科、小児科

診 療 日：日曜日、祝日、年末年始

受付時間：午前8時30分から11時30分まで
午後1時から4時30分まで



新型コロナウイルス対策のため、看護専門学校の トイレ等を自動センサー化します

令和3年2月19日（金）
津島市立看護専門学校（牧野、木村）
電話番号 0567-26-4101

予算額 1,400万円【新規】

新型コロナウイルス感染症の感染予防の面から、学校のトイレを洋式化し、スイッチ類等を自動センサー化します。

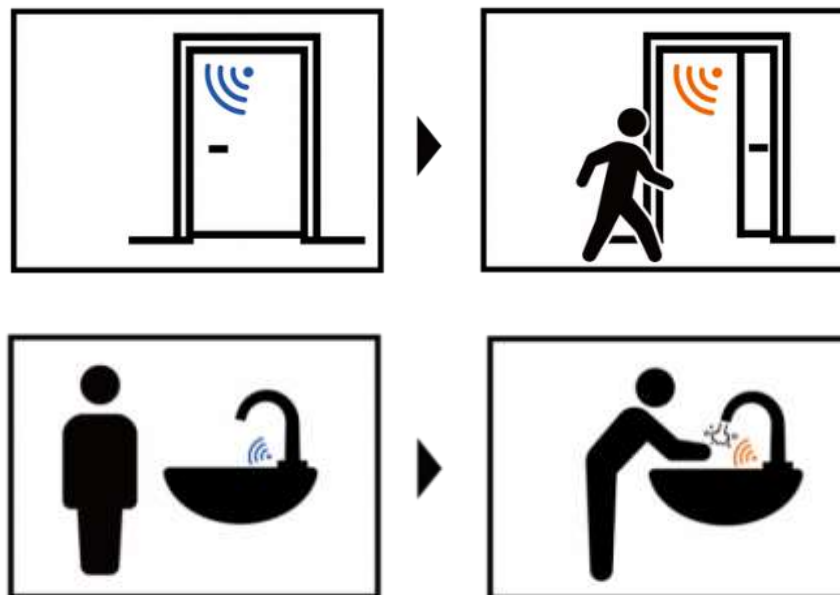
看護専門学校トイレ改修工事

(1) 工事内容

- ・和式便器から洋式便器 14器
- ・小便器改修：自動センサー洗浄化 2器
- ・手洗改修：自動水栓化
- ・天井改修
- ・照明器具改修：LED照明化、人感センサー化
- ・ブース改修
- ・施工面積：約65㎡

(2) 工事期間（予定）

- ・令和3年7月下旬（夏季休暇開始から） 工事開始
- ・令和3年10月下旬 工事完了



【国民健康保険特別会計】

特定健康診査前世代（35歳から39歳） の方の健康意識の向上を図ります

～自己負担額ゼロで健康管理を支援～

予算額 145万9千円【新規】

現在、国民健康保険に加入している40歳から74歳までの方を対象に特定健康診査を実施しています。
令和3年度から市独自の取組として国民健康保険に加入している35歳から39歳の方も健診の対象に加え、自己負担額ゼロで健康管理を支援します。

特定健康診査前世代健康診査事業

- ・対象：津島市の国民健康保険に加入中の
35歳～39歳の方
- ・受診定員：60人
- ・健診方法：集団健診
- ・健診内容：血圧測定、尿検査、血液検査、
心電図など
- ・自己負担：なし

健診は一日、
健康は一生。



令和3年2月19日（金）
津島市健康福祉部保険年金課（高橋、村上）
電話番号 0567-24-1113（ダイヤルイン）